

7 リテラシー教育の実績

7.1 リテラシー教育の実施

(1) 図書館活用法※1

* 半期2単位（駿河台：春学期、生田：秋学期、和泉：2006年度より春学期・秋学期に開講、中野：2019年度より開講なし）

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
中央図書館	履修者数	67	36	66	57	49	40	49	50	50
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	15(13)	15(11)	15(11)	14(10)	14(10)	14(8)	12(6)	14(8)	14(8)
	担当講師数 ※3	14(10)	15(12)	13(11)	13(8)	13(8)	14(10)	12(8)	15(11)	15(11)
和泉図書館	履修者数	240	315	331	295	306	153	175	177	198
	開講数	4	4	4	4	4	2	2	2	3
	授業回数 ※2	58(42)	56(40)	58(46)	56(36)	56(32)	28(16)	28(16)	28(16)	42(24)
	担当講師数 ※3	29(27)	27(25)	27(25)	29(23)	27(24)	21(19)	21(18)	21(18)	19(14)
生田図書館	履修者数	36	29	27	76	36	27	46	49	43
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	15(10)	15(10)	14(9)	14(6)	14(6)	14(6)	14(5)	14(6)	14(6)
	担当講師数 ※3	10(6)	9(6)	10(6)	12(6)	13(7)	12(6)	11(5)	10(4)	13(6)
中野図書館	履修者数	10	16	32	4	9				
	開講数	1	1	1	1	1				
	授業回数 ※2	15(10)	14(10)	15(10)	14(9)	14(8)				
	担当講師数 ※3	8(5)	7(5)	8(5)	8	7(3)				
履修者総数		353	396	456	432	400	220	270	276	

※1 2000年開講。2020年度、2021年度はコロナ禍によりオンライン授業で実施。2022年度からメディア授業。

※2 カッコ内の数字は職員が担当した回。ただし、教員とともに担当した回は除く。

※3 複数のキャンパスを担当した場合はそれぞれに計上。カッコ内の数字は職員。

(2) ゼミツアー *フリーツアー（すべての利用資格者対象）含む

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
中央図書館	回数 ※1	56	61	59	60	62	66	0	3(46)	50(25)
	履修者数	617	620	719	725	749	754	0	6	568
和泉図書館	回数	170	169	150	134	123	142	0	0	0
	履修者数	2,741	2,999	2,902	2,432	2,405	2,656	0	0	0
生田図書館	回数 ※1	21	18	13	23	23	20	12	(13)	20(10)
	履修者数	218	211	132	261	272	237	354	262	358(125)
中野図書館	回数 ※1	21	20	28	20	18	13	29	(14)	13(11)
	履修者数	255	265	361	308	238	141	-	61	70(662)

※1 カッコ内は動画提供数。

(3) 出前講義 *「図書館活用法」を除く教室授業、図書館以外施設授業など

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
中央図書館	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	履修者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和泉図書館	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	履修者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生田図書館	回数	8	10	18	18	18	12	12	12	10
	履修者数	286	422	384	405	417	311	407	296	331
中野図書館	回数	2	2	3	3	9	10	0	0	0
	履修者数	30	40	50	71	216	225	0	0	0

(4) 各種講習会 * 情報・文献検索講習会、DB 講習会、テーマ別講習会、グループガイダンスなど

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
中央図書館	回数	20	18	20	4	10	2	0	0	0
	参加者数	222	190	107	9	73	7	0	0	0
和泉図書館	回数	40	22	19	8	5	8	0	0	0
	参加者数	384	291	147	101	145	186	0	0	0
生田図書館	回数	23	8	1	2	13	18	2	2	2
	参加者数	197	121	7	62	320	1,026	121	61	122
中野図書館	回数	23	10	4	4	6	8	0	0	0
	参加者数	68	84	11	9	9	18	0	0	0

(5) オリエンテーション * 新入生、新任教員、三年次、留学生など

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
中央図書館	回数	13	12	10	7	8	7	0	0	0
	参加者数	970	893	1,148	1,278	1,094	163	0	0	0
和泉図書館	回数	8	7	11	13	13	12	0	0	0
	参加者数	5,196	5,677	5,093	7,881	5,222	5,206	0	0	0
生田図書館	回数	4	6	4	4	4	4	0	0	0
	参加者数	1,698	1,595	1,612	1,612	1,562	1,708	0	0	0
中野図書館	回数	5	5	7	8	8	6	0	1	1
	参加者数	627	665	784	889	806	739	0	20	19

(6) 見学・視察 * 各種団体、個人、学校など

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
中央図書館	回数 ※ 1	100	95	88	97	11	46	0	1	233
	参加者数	3,229	3,108	3,027	3,302	843	1,792	0	5	3502
和泉図書館	回数 ※ 1	140	88	54	54	47	58	0	5	19
	参加者数	3,791	2,134	2,829	2,829	2,139	1,530	0	64	742
生田図書館	回数 ※ 1	0	3	2	2	1	1	0	0	0
	参加者数	285	2,972 ※ 2	453	453	516	293	0	0	0
中野図書館	回数 ※ 1	31	13	3	7	3	5	0	0	-
	参加者数	1,638	3,089	2,625	2,718	2,277	1,034	0	233	1609

※ 1 個人での見学は含まない

※ 2 オープンキャンパスの参加者数を含む

7.2 全学共通総合講座「図書館活用法」

《春学期》

駿河台キャンパス

2022年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講 座 名				コーディネーター	
図書館活用法【メディア授業】				学部・氏名	
開講キャンパス		単 位	開講期	曜 日	時 限
駿河台		2	春学期	火	4
1 授業の概要・到達目標					
1. 図書館の蔵書、施設、サービス内容を知り、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになる（図書館リテラシー） 2. さまざまな情報、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになる（情報リテラシー） 3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになる（学術リテラシー） 4. 就職活動に役立つ企業情報を手に入ることができるようになる					
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）					
回	日 程	テーマ	担当者		
1	4月 12日	イントロダクション（講座の概要、成績評価方法等の説明） 大学図書館への招待（明治大学図書館の役割、設備・資料・サービス）	所属・役職 社会図書部部長 氏 名	菅原 智太郎 長野 史郎	
大学で学ぶには、図書館が不可欠であることが不可欠である。豊かな知識は、豊かな人間性、広い見識を養ううえで貴重なものである。初期では、まずは大学図書館の役割や役割を明らかにした上で、「図書館リテラシー」という授業科目の意義、内容、レポート提出、成績評価などについて説明します。そして後半では、中央図書館事務部長より明治大学図書館の概要や中央図書館の設置やサービスを主として紹介し、図書館の魅力を引き出していきます。					
2	4月 19日	図書館ツアー（図書館の概要とバックグラウンド紹介）	氏 名	大場 睦美・大場 功	
大学図書館の施設やサービス、資料の特徴を知り、それらの利用方法を理解することは、大学図書館の存在意義を理解することの第一歩です。この回では、前回と同じく図書館の概要説明後、館内施設の内容を確認することにより理解を促進させます。さらに、普段は見ることのない資料館を見学することで、大学図書館の業務がどのようなプロセスで行われていることを紹介します。					
3	4月 26日	レポート・論文の作成方法	所属・役職 氏 名	経営学部専任准教授 長野 史郎	
レポート・論文は、自分の調査・研究内容について論理的に記述し、公表し、他者の理解を得るために書かれます。大学教育ではレポート・論文の書き方を重視しており、この授業ではその作成方法について説明します。この講義では、著作権法の概要、著作権法に付いた文庫・情報の利用方法や著作権について学びます。					
4	5月 10日	図書資料の活用と著作権	所属・役職 氏 名	情報コミュニケーション学部准教授 合村 哲也	
資料、研究、論文、レポートの作成においては、多くの図書館資料（論文）、インターネット上の情報も利用します。これらの著作物・情報の利用にあたっては、「著作権法」について十分理解しておく必要があります。この講義では、著作権法の概要、著作権法に付いた文庫・情報の適切な利用方法を学びます。					
5	5月 17日	研究と図書館	所属・役職 氏 名	経営学部専任講師 平塚 伸洋	
研究者にとって、膨大な文献やデータを利用することは不可欠であり、現代の研究者は膨大な量の研究資料に図書館がどのように関わっているのか、特に論文を作成する際に図書館を活用することについて、重点的であることが十分に説明します。					
6	5月 24日	書物の楽しみ	氏 名	野田 寛彦	
書物の楽しみには、その価値に気づかずに様々な要素を体験できるということがあります。現在の社会では他国の文化に理解を深めることが益々重要になってきています。いくつかの書物を紹介しながら、一緒に中国語の習得や言語の通いに触れたいと思います。					
7	5月 31日	学術情報・図書館の動向と課題	所属・役職 氏 名	経営学部専任准教授 大野 恵子	
図書館や学術情報をめぐる現在の状況・問題と課題を知り、問題の背景を理解し、今後の学術情報の方針について考えます。学術情報流通、コンソーシアム、オープンアクセスといったテーマを取り上げる予定です。					
8	6月 7日	文庫・情報の探し方（1）文庫情報検索、図書館情報の入手と利用【演習】	所属・役職 氏 名	図書館職員 鈴木 貴博子	
図書や雑誌など、資料の探し方について知識を身に付け、それらを利用する特長があります。また、図書館の蔵書とインターネット上の情報との違い、図書館の蔵書とインターネット上の情報との違い、図書館蔵書の基本的な検索方法を各自で学習していただきます。					

和泉キャンパス

2022年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講 座 名				コーディネーター	
図書館活用法(メディア授業)				文学部 牧野 洋司	
開講キャンパス		単 位	開講期	曜 日	時 限
和泉		2	春学期	火	4
1 授業の概要・到達目標					
1. 図書館の蔵書、施設、サービス内容を知り、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになる(図書館リテラシー) 2. さまざまな情報、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになる(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようにする(学術リテラシー)					
2 授業内容(日程・テーマ・担当者)		テーマ		担当者	
1	4月 12日	イントロダクション (講座の概要、成績評価方法等の説明)	所属・役職 文学部専任教授 社会図書部部長 氏 名 長野 史郎		
本講座は、大学の学びに不可欠な図書館の活用に必要な知識とスキルの習得を目的とする。書籍・雑誌、辞書・事典類などのリソースを資料にする学習と情報の技法について取り上げます。さらには、特定の課題に関するデータの作成のために必要な情報やデータベースの活用方法について解説します。最終的には、検索・入手された文獻・情報(図書誌記号・論文)をもとに、レポートの作成をめざします。また、成績評価について説明します。					
2	4月 19日	知を生産するための読書法とはヘクリティカル・リーディングスから始めよう	所属・役職 成城大学非常勤講師 氏 名 熊生 知子		
高校でたどる「学」は、「読書」ではない。「正しい知識」によって与えられたものをインプットし、そのままだウツプットすることが中心だった。しかし、大学は、与えられたものを理解することだけでなく、さらなる「知」を自ら創り出し、「研究」していくことで、では、「情報」をどうとらえ、活用するか「問い」に対してどう答へるか、この辺りが、「知」を生産するための読書の一端を紹介する。					
3	4月 26日	図書館でたどる日本のこゝろ>	所属・役職 成城大学非常勤講師 氏 名 熊生 知子		
現在、我々の前にある全ての現象は、先入りの積み上げでできた「知」の集塊のものにあまりすぎ。この辺りが、「知」が集塊である期間である「図書館」との関わり合いに注目する。特に、古代には、他国との「集合」の中心/オアシスに集った者達の間で「図書館」との関わり合いに注目する。特に、古代には、他国との「集合」の中心/オアシスに集った者達の間で「図書館」との関わり合いに注目する。特に、古代には、他国との「集合」の中心/オアシスに集った者達の間で「図書館」との関わり合いに注目する。					
4	5月 10日	レポートの作成と図書館情報資源の活用	所属・役職 文学部専任教授 氏 名 牧野 洋司		
レポート・論文を作成する際には、課題を設定し、先行研究を調査する必要があります。その上で、必要な情報・資料を収集し、その分析・解釈を行います。誰も知らないものや新しい知を創出することを目指しますが、そのためにはどうしたらよいでしょう。レポート作成の段階における留意点について考える。を執筆するもの向きさな方々です。					
5	5月 17日	図書館サービスと著作権	所属・役職 文学部専任教授 氏 名 青柳 英治		
この授業では、レポートや論文の作成時に活用する図書、雑誌記事・論文、インターネット上の情報資源の利用にあたり、理解が求められる著作権について取り上げます。具体的には、法の概要を把握し、法に則って図書館が扱う資料、情報資源の利用の方法を学びます。あわせて、レポートや論文で、他の文獻を引用するルールの理解も目指します。					
6	5月 24日	文獻・情報の探し方(1) 図書①【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 和田 さくら・畑野 蘭子		
『学問大図解辞典』の「学問」(90-94K)の検索方法、検索結果である目録・分類、請求記号から検索場所までのデータの読み取りの順序・方法を学びます。					
7	5月 31日	文獻・情報の探し方(2) 図書②【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 和田 さくら・畑野 蘭子		
前回の学習をふまえて、本邦図書館に所蔵した文獻資料を検索する方法や、ヒットした資料の利用方法などについて具体的な説明・演習を行います。					
8	6月 7日	文獻・情報の探し方(3) 雑誌論文①【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 吉田 千景・豊満 朝子		
図書と雑誌の両方を理解するために、大学の雑誌データベース、雑誌所蔵データの読み取りの方法や、演習を行います。説明には雑誌所蔵の検索方法・検索結果の読み取りとを含みます。さらに雑誌の利用方法の説明も行います。このように効率よく検索・活用できるように学びます。					

回	日 程	テーマ	担当者
9	6月 14日	文獻・情報の探し方（2）雑誌・論文情報の入手と利用【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 松岡 久美子
10	6月 21日	文獻・情報の探し方（3）レファレンス情報と新聞記事・企業情報の入手と利用【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 久保本 和義
11	6月 28日	文獻・情報の探し方（4）人社会データベースの紹介と電子情報の探し方【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 西脇 亜由子・浅野 京子
12	7月 5日	文獻・情報の探し方（5）人社会データベースの紹介と電子情報の探し方【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 西脇 亜由子・浅野 京子
13	7月 12日	文獻・情報の探し方（6）図書館における情報のあり方（情報の組織化、その他の検索テクニック）【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 小野 聡
14	7月 19日	まとめ（文獻・情報の入手からレポート・論文の作成へ）と総合テスト a：まとめ、b：テスト	所属・役職 経営学部専任准教授 社会図書部長 氏 名 長野 史郎
3 履修上の注意			
本授業は、講義（概論）と演習を組み合わせて、知識の習得だけでなく活用する術を身に付けることを目指しており、教員と図書館の職員が担当します。演習では、実際にパソコンを操作してデータベースの検索等を行うために、MINO利用講習会を開催します。講義（概論）は、Meijiシステムのクラスルームを通じて配信するメディア授業（オンデマンド型）で実施します。講義（概論）は原則として前日までに配信し、当該学期中の視聴が可能です。小課題は、毎回すべての講義動画、演習動画を視聴、実施したうえで取り組んでください。質疑・相談については、(1)ディスカッション機能、(2)小課題の自由記述機能、(3)図書館レファレンスカンターで、随時、受け付けます。			
4 準備学習（予習・復習等）の内容			
各回のテーマ、シラバスに記載された内容に関連した事項（本を読む、実際にツールに触れてみるなど）をして授業に臨んでください。また、授業後は、講義内容、配信資料に基づいて振り返り、得た知識を定着させるよう努めてください。			
5 教科書			
特に定めません。教材としてレジュメ等を用意します。			
6 参考書			
『これからレポート・卒論を書く若者のために』第2版、酒井聡樹著（2017、共立出版、ISBN9784320005983） 『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門』第3版、佐藤望樹著（2020、慶應義塾大学出版会、ISBN9784764265644） 『デジタル情報資源の検索』増訂第5版、高根樹著（2014、京都図書館情報学研究会、ISBN9784820143226） 『図書館活用法：検索の基本は図書館に』新訂第4版、藤田節子著（2020、日外アソシエーツ、ISBN9784816928154） 『文獻情報①：調査・レポート・論文作成必携：情報リテラシー読本』第9版、毛利和弘著、I&Jジャパン（2021、I&Jジャパン、ISBN 9784861401725）			
7 成績評価の方法			
レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと			

回	日 程	テーマ	担当者
9	6月 14日	文獻・情報の探し方（4）雑誌論文②【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 吉田 千景・豊満 朝子
10	6月 21日	文獻・情報の探し方（5）レファレンス情報【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 上田 大輔
11	6月 28日	文獻・情報の探し方（6）新聞【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 松尾 晋
12	7月 5日	文獻・情報の探し方（7）インターネット【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 池谷 美和子
13	7月 12日	文獻・情報の探し方（8）11〜17まとめ【演習】	所属・役職 図書館職員 氏 名 関口 樹雄・島原 雅也
14	7月 19日	まとめと総合テスト a：テスト、b：まとめ	所属・役職 社会図書部長 社会図書部長 氏 名 長野 史郎・青柳 英治
3 履修上の注意			
本授業は、講義（概論）と演習を組み合わせて、知識の習得だけでなく活用する術を身に付けることを目指しており、教員と図書館の職員が担当します。演習では、実際にパソコンを操作してデータベースの検索等を行うために、MINO利用講習会を開催します。講義（概論）は、Meijiシステムのクラスルームを通じて配信するメディア授業（オンデマンド型）で実施します。講義（概論）は原則として前日までに配信し、当該学期中の視聴が可能です。小課題は、毎回すべての講義動画、演習動画を視聴、実施したうえで取り組んでください。質疑・相談については、(1)ディスカッション機能、(2)小課題の自由記述機能、(3)図書館レファレンスカンターで、随時、受け付けます。			
4 準備学習（予習・復習等）の内容			
各回のテーマ、シラバスに記載された内容に関連した事項（本を読む、実際にツールに触れてみるなど）をして授業に臨んでください。また、授業後は、講義内容、配信資料に基づいて振り返り、得た知識を定着させるよう努めてください。			
5 教科書			
特に定めません。教材としてレジュメ等を用意します。			
6 参考書			
『これからレポート・卒論を書く若者のために』第2版、酒井聡樹著（2017、共立出版、ISBN9784320005983） 『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門』第3版、佐藤望樹著（2020、慶應義塾大学出版会、ISBN9784764265644） 『デジタル情報資源の検索』増訂第5版、高根樹著（2014、京都図書館情報学研究会、ISBN9784820143226） 『図書館活用法：検索の基本は図書館に』新訂第4版、藤田節子著（2020、日外アソシエーツ、ISBN9784816928154） 『文獻情報①：調査・レポート・論文作成必携：情報リテラシー読本』第9版、毛利和弘著、I&Jジャパン（2021、I&Jジャパン、ISBN 9784861401725）			
7 成績評価の方法			
レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと			

2022年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）					
講 座 名			コーディネーター		
学 館・氏 名			学 館・氏 名		
図書館活用法【メディア授業】			文学部 青藤 泰則		
開講キャンパス	単 位	開講期	曜 日	時 限	
和泉	2	春学期	水	5	
1 授業の概要・到達目標					
1. 図書館の蔵書、施設、サービス内容を知り、図書や蔵書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになる（図書館リテラシー）					
2. さまざまな情報、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになる（情報リテラシー）					
3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになる（学術リテラシー）					
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）					
回	日 程	テーマ	担 当 者		
1	4月 13日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属・役職 文学部専任教授 図書館専任部長	氏 名 青藤 泰則	
本講座は、大学での学習に不可欠な図書館の活用に必要な知識とスキルの習得を目指す。書誌・索引、辞書・事典類などのレファレンス資料に関する知識とその検索の技法について取り上げます。さらには、特定の課題に関するレポートの作成のために必要な情報や知識および文獻の検索法について解説します。最終的には、検索・入手された文獻（図書や雑誌記事・論文）をもとに、レポートの作成を求めます。また、成績評価について説明します。					
2	4月 20日	図書館の機能と図書館情報資源	所属・役職 文学部専任教授	氏 名 青藤 泰則	
大学図書館は、研究教育に必要な情報資源を選択・収集・組織・蓄積・提供するにより、学生の学習を支援する施設です。この面では、大学図書館の基本的な機能と図書館情報資源に関する基本的な知識とスキルについて取り上げます。さらには、ある特定の主題に関する文獻を検索するために必要な検索戦略の構築が可能なスキルの習得を目指します。					
3	4月 27日	レポートの作成と図書館情報資源の利用	所属・役職 文学部専任教授	氏 名 青藤 泰則	
レポート（論文）の作成過程は、課題の設定と集約化に始まり、情報の探求と収集、情報の加工をとおして情報の生産と発信に至る過程です。このレポート作成過程の各段階において必要となる専門知識や情報を入手するために必要とされる百科事典や専門事典の活用、および書誌・索引、目録を利用した専門図書や雑誌記事・論文の検索とその入手について解説します。また、レポートの執筆要領（引用文獻の記述方法を含む）についても詳しく取り上げます。					
4	5月 11日	図書の歴史と図書館	所属・役職 文学部専任教授	氏 名 三浦 太郎	
図書の保存・利用の場として、図書館は歴史的にどのように発展し現在の姿に至っているのでしょうか。古代・中世・近世・近代それぞれの時期、洋の東西を問わず、図書館にはさまざまな姿がありました。ここでは、日本の江戸期から明治期にかけての図書館（文庫）を取り上げ、その特徴について理解したいと思います。					
5	5月 18日	図書館サービスと著作権	所属・役職 文学部専任教授	氏 名 青柳 英治	
この授業では、レポートや論文の執筆時に活用する図書、雑誌記事・論文、インターネット上の情報資源の利用にあたり、理解が求められる著作権法を取り上げます。具体的には、法の概要を把握し、法に則して図書館が扱う資料・情報資源の利用の仕方を学びます。あわせて、レポートや論文で、他の文獻を引用するルールの理解も目指します。					
6	5月 25日	文獻・情報の探し方 (1) 図書①【演習】	所属・役職 図書館職員	氏 名 和田 さくら・畑野 蘭子	
明治大学図書館蔵書検索システム(Web-OPAC)の検索方法、検索結果である目録・分類、請求記号や配架場所などのデータの読み取り方を解説し、図書館の蔵書を効率的に使いこなせるようにします。また、ヒットした資料の利用方法などについて具体的な説明・演習を行います。					
7	6月 1日	文獻・情報の探し方 (2) 図書②【演習】	所属・役職 図書館職員	氏 名 和田 さくら・畑野 蘭子	
前回の内容をふまえ、本学図書館に所蔵しない資料を検索する方法や、ヒットした資料の利用方法などについて具体的な説明・演習を行います。					
8	6月 8日	文獻・情報の探し方 (3) 雑誌論文①【演習】	所属・役職 図書館職員	氏 名 吉田 千草・豊満 朝子	
図書と雑誌の違いを理解したうえで、OPACの雑誌データベース、雑誌所蔵データベースの読み方の説明・演習を行います。説明には雑誌特有の読み方、一括所蔵情報などを含みます。さらに雑誌の利用方法の説明も行います。このことにより効率よく雑誌を探し出して利用できるようになります。					

回	日 程	テーマ	担当者	
9	6月 15日	文獻・情報の探し方 (4) 雑誌論文②【演習】	所属・役職 図書館職員	氏 名 吉田 千草・豊満 朝子
図書館の蔵書を検索するOPACでは、雑誌名で検索することはできません。その中の論文・記事を検索することはできません。論文・記事単位での検索を行うためには、OPACとは別の検索ツールを使う必要があります。その検索ツールの説明・演習を行います。このことにより、皆さんが必要とする論文を素早く簡単に探し、入手することができるようになります。				
10	6月 22日	文獻・情報の探し方 (5) レファレンス資料【演習】	所属・役職 図書館職員	氏 名 土田 大輔
図書館で所蔵する様々な資料の中には、効率よく調べものをするのに適した図書が存在し、本邦図書、あるいはレファレンスブックと呼ばれる。学習のための調べものはインターネット検索だけでは不十分な場合があります。この面では、図書およびオンラインのレファレンス資料を活用して事例や文獻について調べ方、また、論文・レポートのテーマ設定をし、その基本情報を入力する方法を学びます。				
11	6月 29日	文獻・情報の探し方 (6) 新聞【演習】	所属・役職 図書館職員	氏 名 柴尾 晋
新聞は印刷物のほかデータベース等を使って検索・閲覧することができます。うまく使いこなせれば事例や事例を調べられるだけでなく、世論などその時代における“空気”のようなものも、うかがい知ることが出来る有用なツールです。この授業では演習を行い、新聞データベースの適応利用方法を理解し、また使いこなす技術が身につくようになります。				
12	7月 6日	文獻・情報の探し方 (7) インターネット【演習】	所属・役職 図書館職員	氏 名 池ノ谷 美和子
インターネット上の情報の種類、探索方法、特性、評価などについて説明し、検索エンジンについても理解を深めます。また、インターネットを通じて利用する重要な情報として、電子ジャーナル、電子ブック、機関リポジトリについても説明・演習を行います。				
13	7月 13日	文獻・情報の探し方 (8) ①②③まとめ【演習】	所属・役職 図書館職員	氏 名 関口 剛雄・桑原 雅彦
これまでの授業で学んできた様々な文獻・情報の探し方を振り返ります。それらを総合的に活用できるようにこれまでの復習を行います。日々の学習や研究に役立つ文獻検索技術が身につくよう改めて練習し、自身の調査・検索における弱点を見つけ出し、さらにステップアップできる機会とさせていただきます。				
14	7月 20日	まとめと総合テスト a：テスト、b：まとめ	所属・役職 文学部専任教授 図書館職員	氏 名 関口 剛雄・桑原 雅彦
あるテーマについて、文獻を探し出し研究・調査のうえ、自分の考えをまとめて表現することは、レポート・論文の作成という学習の場に限らず、日常生活においても、また社会に出ても必要な技術です。それを確かなスキルとして身につけるために、最後の総まとめとして、これまで学んだ文獻・情報の探し方や著作権等について確認します。				
3 履修上の注意				
本授業は、講義（理論）と演習を組み合わせて、知識の習得だけでなく活用する術を身に付けることを目指しており、教員と図書館の職員が担当します。演習では、実際にパソコンを操作してデータベースの検索等を行うため、履修にあたっては、MINI利用講習会を受講済みであることを必須とします。すべての回は、講義動画をWeb1、Web2システムのクラスウェアを通じて配信するメディア授業（オンデマンド型）で実施します。講義動画は原則として前日までに配信し、当該学期中の視聴が可能です。出席は、第2回～第13回に行く小課題、第14回に行く総合テストの提出により確認します。小課題は、毎回すべての講義動画、演習問題を視聴、実施したうえで取り組んでください。また、クラスウェアのディスカッション機能を活用し、意見交換の場を設けます。質問・相談については、(1)ディスカッション機能、(2)小課題の自由記述欄、(3)図書館レファレンスカウンターで、随時、受け付けます。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
各回のテーマ、シラバスに記載された内容に関連した準備（本を読む、実際にツールに触れてみるなど）をして授業に臨んでください。また、授業後は、講義内容、配付資料に基づいて振り返り、得た知識を定着させるよう努めてください。				
5 教科書				
特に定めません。教材としてレジュメ等を用意します。				
6 参考書				
『これからレポート・卒論を書く者のために』第2版、酒井聡樹著（2017、東立出版、ISBN9784320005983） 『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門』第3版、佐藤望編著（2020、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766428564） 『デジタル情報資源の検索』増訂第5版、高橋裕樹著（2014、京都図書館情報学研究会、ISBN9784820413226） 『図書館活用術：検索の基本は図書館に』新訂第4版、藤田節子著（2020、日外アソシエーツ、ISBN9784816928154） 『文獻調査法：調査・レポート・論文作成必携：情報リテラシー読本』第3版、毛利和弘著、BSジャパン編（2021、BSジャパン、ISBN 9784861401725）				
7 成績評価の方法				
※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のものとします。 平常点(25%)、総合テスト(25%)、期末レポート(50%)を総合的に判断します。平常点は、第2回～第13回に行く小課題、期末に行う授業評価アンケートに基づき評価を行います。 なお、対面形式での試験は行わず、以下に該当する者の成績評価は行いません。 ・小課題を4回以上提出していない者 ・総合テストの未受験者 ・期末レポートの未提出者				

《秋学期》
和泉キャンパス

2022年度全学共修総合講座 講座計画書 (シラバス)						
講座 名					コーディネーター	
図書活用法活法 (メディア授業)					文学部 書情 泰明	
開講キャンパス		単 位	開講期	曜 日	時 限	
和泉			秋学期	水	5	
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の機能、施設、サービス内容を知り、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適に利用できるよになる (図書利用の常識) 2. まなびの宝庫である、図書の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるよになる (情報リテラシー) 3. 入手した情報 (文献、資料) を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようにする (学術リテラシー)						
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)						
回	日 程	テーマ	担当教員			
1	9月 21日	イントロダクション (講義の概要、成績評価方法等の説明)	所属・施設	文学部書情専任教員 和泉 泰明	氏 名	小倉 貴子
本講座は、大抵の学習に必要な図書館の情報を必要としない基礎と主体的な学習を目的として、学生が読書、研習、事業などのレファレンス資料に関する知識とその他の技法について取り上げます。さらには、特定の課題に関するレポートの作成のために必要な情報や知識および文書の技法について解説します。最終的には、検索、入手された文献 (図書や雑誌記事・論文) をもとに、レポートの作成を求めます。また、成績評価について説明します。						
2	9月 28日	図書館の機能と図書館情報資源	所属・施設	文学部書情専任教員	氏 名	書情 泰明
この図書館は、研究教育に必要な情報資源と書籍・図画・動画・書籍、提供することにより、学生の学習を支援する施設です。大抵の図書館は、研究教育に必要な情報資源と図書館情報資源に関する基本的な知識とスキルについて取り上げます。さらには、ある特定の主題に関するレポートの作成に必要な検索技法や可能なスキルの習得を目指します。						
3	10月 5日	レポートの作成と図書館情報資源の利用	所属・施設	文学部書情専任教員	氏 名	書情 泰明
レポート (論文) の作成過程は、課題の調査と焦点化に始まり、情報の探索と収集、情報の評価をおこなって情報の生産と発信に至ります。このレポート作成過程の各段階において必要となる知識や技能を入手するために必要な自然科学や専門書等の活用、および書籍・刊行物・目録を利用した図書館や雑誌記事、論文の検索とその入手について解説します。また、レポートの執筆要領 (引用文庫の記述方法を含む) についても詳しく取り上げます。						
4	10月 12日	図書の歴史と図書館	所属・施設	文学部書情専任教員	氏 名	三浦 太郎
図書の保存・利用の場として、図書館は歴史的な役割を担ってきた。ここでは、日本の江戸時代から明治期にかけての図書館 (文庫) 興りについて、その特徴について解説したいと思います。						
5	10月 19日	図書館サービスと著作権	所属・施設	文学部 書情	氏 名	書情 泰明
この授業では、レポートや論文の執筆時に活用する図書、雑誌記事・論文、インターネット上の情報資源の利用にあたり、理解が求められる著作権法を取り上げます。具体的には、法の概要を把握し、法に照らして図書館が図書の利用、情報資源の利用の仕方を学びます。あわせて、レポートや論文で、他の文献を引用するルールの理解も目指します。						
6	10月 26日	文庫・情報の探し方 (1) 図書① 【演習】	所属・施設	図書館職員	氏 名	飯坂 貴子・久松 憲子
明治大図書館蔵書検索システム (Web-OPAC) の検索方法、検索結果での目録・目録、請求記号や使用頻度などのデータの読み取り方法を学び、図書の検索を容易く使いこなせるようにします。また、ヒットした資料の利用方法などについて、具体的な説明・演習を行います。						
7	11月 9日	文庫・情報の探し方 (2) 図書② 【演習】	所属・施設	図書館職員	氏 名	飯坂 貴子・久松 憲子
前回の内容をふまえ、本学図書館に所蔵しない資料を検索する方法や、ヒットした資料の利用方法などについて具体的な説明・演習を行います。						
8	11月 16日	文庫・情報の探し方 (3) 図書③ 【演習】	所属・施設	図書館職員	氏 名	小倉 さなえ・杉谷 美和
図書と雑誌の活用方法を理解したうえで、特定の雑誌記事データベース、雑誌記事データベースの読み取り方法・調査を行い、図書に雑誌特有の記述を施し、一括検索機能を含みます。さらに雑誌の利用方法の説明を行います。このように、効率よく雑誌を探し出し活用できるようになります。						

期	日	種	テーマ	担当教員
9	11月	30B	論文・情報の探し方 (4) 読解論文文法 [演習]	所属・役職 図書館職員 氏名 小暮 きるな・杉谷 美和
図書館の書籍やデータベースから、雑誌も検索する手段としても、その中でも最も手軽で、論文・記事・事例などで検索が可能には、OPACとは別の検索ツールを使う必要があります。この項では、図書館およびオンラインのデータベース資料を活用して事例や文献について調べる方法、また、論文・レポートのアーカイブ設定、その基本情報入手の方法を学びます。				
10	12月	7B	論文・情報の探し方 (5) レファレンス資料 [演習]	所属・役職 図書館職員 氏名 土田 大輔
図書館で利用できる様々な資料の扱いに、効果よく調べるときのために適切な図書や記事、参考資料、あるいはレファレンスサービス、図表など、必要なものを効率的に探すためのスキルと留意点については十分にも触れられます。この項では、図書館およびオンラインのデータベース資料を活用して事例や文献について調べる方法、また、論文・レポートのアーカイブ設定、その基本情報入手の方法を学びます。				
11	12月	14B	論文・情報の探し方 (6) インターネット [演習]	所属・役職 図書館職員 氏名 松岡 久千晴
新聞(1日新聞)のほかウェブニュースを使って最新情報を閲覧することができます。また、使いこなせば情報やデータを簡単に調べることができます。また、さまざまなWebサイトにおける「検索」の仕組みや、ウェブサイトの構造やデザイン、新着ページなどの進捗状況を確認し、また使いこなし技術が身につくようになります。				
12	12月	21B	論文・情報の探し方 (7) インターネット [演習]	所属・役職 図書館職員 氏名 榎木 正典
インターネット上の情報の種類、探査方法、特性、評価などについて説明し、検索エンジンについても理解を深めます。また、インターネットを通じて利用可能な重要な情報として、電子ジャーナル、電子ブック、機器リポジトリについても説明・演習を行います。				
13	1月	11B	論文・情報の探し方 (8) データベースとまとめ [演習]	所属・役職 図書館職員 氏名 岡村・羽田・森原 雅恵
これまで学んで来た様々な論文・情報の探し方を総復習します。それらを総合的に活用できるようにするための練習を行います。日々の学習や研究等における文献調査技術が身につくよう改めて練習し、自身の調査・検索におけるポイントを見出し、さらにステップアップに向けて協議と共有を図ります。				
14	1月	18B	まとめで紹介された a・t・s・t・s とまとめ	所属・役職 図書館職員 氏名 岡村・羽田・森原 雅恵
あらためて、授業で実践した調査・調査の方法、自分の考えをもっと表現すること、レポート・論文の作成についての基礎的な知識、必要となるスキルを再確認し、さらなる発展のために、最新の総まとめとして、これまで学んだ論文・情報の探し方や習得方法について議論します。				
5 履修上の注意				
本授業は、課題（演習）と演習を組み合せ、知識の習得だけでなく活用する術を身に付けることを目指しており、教員と図書館の協力が指針です。演習では、実際にパソコンを操作してデータベースの検索等を行う作業、履修にあたっては、MINO利用規約(2020年4月6日改定版)に従っていただきます。				
すべての項目は、講義動画でview! MILEシステム上のクラスページを通じて配信するタビリティ検索(オプザンダム)で実施します。講義動画は原則として毎日自主に視聴し、該当学期中の受講が可能です。				
演習時間は、原則として小規模、第4回以降に行う大規模の演習とは別枠として承認します。小規模は、毎回行われる講義動画、演習時間表、実地しながら取り組むことであります。				
① クラスのグループディスカッション機能を利用し、意見交換等を促します。				
② 質問・相談については、①(ア)フィッシュボーン機能、②小規模の自由記述欄、③図書館チャットデスクカウンターで、随時、受け付けます。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
各回の授業（ライブ）に記載されている内容に関連した準備（本を読む、実際にツールに触れるなど）をして授業前までにください。授業後は、講義動画と配付資料に基づいて振り返り、得た知識を定着させるように努めてください。				
5 教科書				
特に定めません。教材としてジェム等を使用します。				
6 参考文献				
『これからのレポート・卒論を書く者のために』第2版、西井研吉著（2017、共立出版、ISBN9784320000593） 『アカデミック・スキルズ：大学でのための知的技術入門』第3版、佐藤隆雄著（2020、能楽堂出版）ISBN4746642524 『デジタル情報源の検索』増訂第2版、森永祐樹著（2014、東京図書出版科学研究所、ISBN9784804132326） 『図書館利用の手引き：検索・品目検索・常設展示場、新刊目録』2020年4月発行、ISBN9784804802154 『文庫調査法：調査・レポート・論文作成必携：情報リテラシー一巻本』黒柳、毛利利彰著、DB×アンテナ社（2021、DB×アンテナ、ISBN 9784861441225）				
7 成績評価の方法				
① 平常点（25%）、総合テスト（25%）、期末レポート（50%）を総合的に判断します。平常点は、第2回～第13回に行う小規模演習、大規模演習、質疑応答、発表・成果発表の観点から評価します。② 以下に該当するものを受験資格と見做します。 ・小規模を4回以上提出していない者 ・総合テストの不通過者 ・期末レポートの不提出者				

生田キャンパス

2022年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）					コーディネーター
講座 名				学部・氏名	
図書館活用法【メディア授業】				理工学部 菅 啓次郎	
開講キャンパス	単 位	開講期	曜 日	時 間	
生田	2	秋学期	曜 日	4	
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の概要、施設、サービス内容を知り、図書館の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになる（図書館のデザイン）。 2. さまざまな種類の情報、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようにする（情報リテラシー）。 3. 図情情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようにする（学術リテラシー）。					
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）					
期 日	期 日	テーマ	所属 氏名	担当者	
9月23日	1	1. イントロダクション（講座の概要、成績評価方法等の説明） 2. 図書館の概要・施設の紹介	所属 氏名 山本 洋平	理工学部専任准教授 佐田由香子先生	
教育、研究支援機関としての図書館は、大学の施設の中で最も複雑で多面的な機能を担っています。第1回目は本講座の概要、本講座の目的と到達目標、図書館の概要と施設についてお話しします。第1回目は本講座の概要、本講座の目的と到達目標についてお話しします。第1回目は本講座の概要、本講座の目的と到達目標についてお話しします。					
9月30日	2	レポート・論文の書き方	所属 氏名 山本 洋平	理工学部専任准教授	
レポートや論文を作成する際には、論点がわかりやすくなければなりません。先行研究を参照する必要があります。授業では、論文の構成方法に加え、先行研究をどのようにレポートや論文の文の中に取り入れ、先行研究のどのような点についてお話しします。先行研究の適切な引用、適切な引用、適切な引用についてお話しします。					
3月10日	3	文獻・情報の探し方 (1) 図書【実践】	所属 氏名 山本 洋平	図書館員	
明大図書館蔵書検索システム（OPAC）の検索方法。検索結果である目録・分冊、請求記号・所蔵位置・資料を検索する方法や、レポートの資料の利用方法について、具体的な説明・演習を行います。					
4月14日	4	文獻・情報の探し方 (2) 図書【実践】	所属 氏名 山本 洋平	図書館員	
本1教養の担当者はフランス文学、映画および都市文化の研究者。フランス映画に描かれる都市、特に移民問題、宗教的対立と地域差について具体的な事例から見て、本講義では、「読解する」対象はそれだけではなく、都市や映像作品もその対象となることを、映画「シネマ」を事例にしながらお話しします。					
5月12日	5	文獻・情報の探し方 (3) 雑誌論文【演習】	所属 氏名 山本 洋平	図書館員	
図書館の蔵書を検索するOPACでは、雑誌名で検索することはできません。その中の雑誌名・記事名を検索することはできません。論文・記事名を検索を行うためには、OPACでは別の検索ツールを使用する必要があります。その検索ツールの説明・演習を行います。このことにより、皆さんも必要とする論文・記事を検索できるようになります。					
7月11日	6	文獻・情報の探し方 (4) 雑誌論文【演習】	所属 氏名 山本 洋平	図書館員	
本1教養の担当者はアメリカの文化・文化の研究者。小説・映画・テレビ番組など、さまざまなメディアの文化とメディアの歴史に詳しく、自らの本を制作している。教養がテーマとすること、メディアにない位相を見つめること、書物とメディアとの関係を再考する。					
8月18日	7	文獻・情報の探し方 (5) 雑誌論文【演習】	所属 氏名 山本 洋平	図書館員	
本1教養の担当者はアメリカの文化・文化の研究者。小説・映画・テレビ番組など、さまざまなメディアの文化とメディアの歴史に詳しく、自らの本を制作している。教養がテーマとすること、メディアにない位相を見つめること、書物とメディアとの関係を再考する。					

期 日	時 間	テ ー マ	担 当 者
9	11月25日	文庫・情報学の提示方 (4) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 図書館情報学 氏 名 氏 名 真理
10	12月2日	図書館で学べる様々な知識の提示には、除却できないものがあるのにはした覚悟で存在し、読書指導、あるいはリファレンスサービスと併せて活用する。学習のための知識の提示は、電子データベース検索だけでは不十分な場合が多い。この辺では、図書館よりインターネットのデータベースを活用して事例や文庫について調べる方法、また、論文・レポートのテーマ設定をし、その基本情報から入手する方法を学ぶ。	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 龍田 崇
11	12月9日	文庫・情報学の提示方 (5) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 図書館情報学 氏 名 氏 名 真理
12	12月16日	図書館サービスと情報学 この授業では、インターネットの検索機能やデータベースの検索・閲覧することから出来る。うまく使えば、さまざまな事例や事例を調べたり、世間で話題になっている「空想」の登場人物のうろつきや行動などが有用なデータで、この授業では演習を行い、新聞記事・書籍などの正確な有用な情報を整理し、これらのデータを自身によって整理します。また、自然科学分野においての「文庫・情報」には、情報の活用が重要であり、これらの専門知識について、それらの情報の活用、入手方法を学ぶ。	岸田・安藤 文学部専任教授 氏 名 岸野 英治
13	12月23日	文庫・情報学の提示方 (6) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 図書館情報学 氏 名 山本 悠聖
14	1月13日	文庫・情報学の提示方 (7) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
15	1月20日	文庫・情報学の提示方 (8) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
16	1月27日	文庫・情報学の提示方 (9) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
17	2月3日	文庫・情報学の提示方 (10) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
18	2月10日	文庫・情報学の提示方 (11) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
19	2月17日	文庫・情報学の提示方 (12) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
20	2月24日	文庫・情報学の提示方 (13) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
21	3月2日	文庫・情報学の提示方 (14) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
22	3月9日	文庫・情報学の提示方 (15) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
23	3月16日	文庫・情報学の提示方 (16) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
24	3月23日	文庫・情報学の提示方 (17) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
25	3月30日	文庫・情報学の提示方 (18) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
26	4月6日	文庫・情報学の提示方 (19) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
27	4月13日	文庫・情報学の提示方 (20) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
28	4月20日	文庫・情報学の提示方 (21) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
29	4月27日	文庫・情報学の提示方 (22) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
30	5月4日	文庫・情報学の提示方 (23) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
31	5月11日	文庫・情報学の提示方 (24) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
32	5月18日	文庫・情報学の提示方 (25) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
33	5月25日	文庫・情報学の提示方 (26) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
34	6月1日	文庫・情報学の提示方 (27) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
35	6月8日	文庫・情報学の提示方 (28) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
36	6月15日	文庫・情報学の提示方 (29) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
37	6月22日	文庫・情報学の提示方 (30) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
38	6月29日	文庫・情報学の提示方 (31) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
39	7月6日	文庫・情報学の提示方 (32) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
40	7月13日	文庫・情報学の提示方 (33) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
41	7月20日	文庫・情報学の提示方 (34) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
42	7月27日	文庫・情報学の提示方 (35) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
43	8月3日	文庫・情報学の提示方 (36) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
44	8月10日	文庫・情報学の提示方 (37) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
45	8月17日	文庫・情報学の提示方 (38) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
46	8月24日	文庫・情報学の提示方 (39) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
47	8月31日	文庫・情報学の提示方 (40) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
48	9月7日	文庫・情報学の提示方 (41) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
49	9月14日	文庫・情報学の提示方 (42) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
50	9月21日	文庫・情報学の提示方 (43) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
51	9月28日	文庫・情報学の提示方 (44) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
52	10月5日	文庫・情報学の提示方 (45) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
53	10月12日	文庫・情報学の提示方 (46) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
54	10月19日	文庫・情報学の提示方 (47) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
55	10月26日	文庫・情報学の提示方 (48) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
56	11月2日	文庫・情報学の提示方 (49) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
57	11月9日	文庫・情報学の提示方 (50) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
58	11月16日	文庫・情報学の提示方 (51) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
59	11月23日	文庫・情報学の提示方 (52) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
60	11月30日	文庫・情報学の提示方 (53) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
61	12月7日	文庫・情報学の提示方 (54) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
62	12月14日	文庫・情報学の提示方 (55) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
63	12月21日	文庫・情報学の提示方 (56) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
64	12月28日	文庫・情報学の提示方 (57) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
65	1月4日	文庫・情報学の提示方 (58) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
66	1月11日	文庫・情報学の提示方 (59) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
67	1月18日	文庫・情報学の提示方 (60) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
68	1月25日	文庫・情報学の提示方 (61) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
69	2月1日	文庫・情報学の提示方 (62) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
70	2月8日	文庫・情報学の提示方 (63) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
71	2月15日	文庫・情報学の提示方 (64) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
72	2月22日	文庫・情報学の提示方 (65) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
73	2月29日	文庫・情報学の提示方 (66) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
74	3月6日	文庫・情報学の提示方 (67) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
75	3月13日	文庫・情報学の提示方 (68) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
76	3月20日	文庫・情報学の提示方 (69) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
77	3月27日	文庫・情報学の提示方 (70) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
78	4月3日	文庫・情報学の提示方 (71) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
79	4月10日	文庫・情報学の提示方 (72) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
80	4月17日	文庫・情報学の提示方 (73) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
81	4月24日	文庫・情報学の提示方 (74) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
82	5月1日	文庫・情報学の提示方 (75) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
83	5月8日	文庫・情報学の提示方 (76) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
84	5月15日	文庫・情報学の提示方 (77) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
85	5月22日	文庫・情報学の提示方 (78) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
86	5月29日	文庫・情報学の提示方 (79) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
87	6月5日	文庫・情報学の提示方 (80) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
88	6月12日	文庫・情報学の提示方 (81) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
89	6月19日	文庫・情報学の提示方 (82) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
90	6月26日	文庫・情報学の提示方 (83) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
91	7月3日	文庫・情報学の提示方 (84) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
92	7月10日	文庫・情報学の提示方 (85) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
93	7月17日	文庫・情報学の提示方 (86) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
94	7月24日	文庫・情報学の提示方 (87) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
95	7月31日	文庫・情報学の提示方 (88) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
96	8月7日	文庫・情報学の提示方 (89) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
97	8月14日	文庫・情報学の提示方 (90) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
98	8月21日	文庫・情報学の提示方 (91) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
99	8月28日	文庫・情報学の提示方 (92) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
100	9月4日	文庫・情報学の提示方 (93) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
101	9月11日	文庫・情報学の提示方 (94) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
102	9月18日	文庫・情報学の提示方 (95) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
103	9月25日	文庫・情報学の提示方 (96) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
104	10月2日	文庫・情報学の提示方 (97) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
105	10月9日	文庫・情報学の提示方 (98) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
106	10月16日	文庫・情報学の提示方 (99) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
107	10月23日	文庫・情報学の提示方 (100) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
108	10月30日	文庫・情報学の提示方 (101) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
109	11月6日	文庫・情報学の提示方 (102) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
110	11月13日	文庫・情報学の提示方 (103) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
111	11月20日	文庫・情報学の提示方 (104) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
112	11月27日	文庫・情報学の提示方 (105) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
113	12月4日	文庫・情報学の提示方 (106) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
114	12月11日	文庫・情報学の提示方 (107) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
115	12月18日	文庫・情報学の提示方 (108) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
116	12月25日	文庫・情報学の提示方 (109) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
117	1月1日	文庫・情報学の提示方 (110) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
118	1月8日	文庫・情報学の提示方 (111) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
119	1月15日	文庫・情報学の提示方 (112) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
120	1月22日	文庫・情報学の提示方 (113) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
121	1月29日	文庫・情報学の提示方 (114) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
122	2月5日	文庫・情報学の提示方 (115) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
123	2月12日	文庫・情報学の提示方 (116) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
124	2月19日	文庫・情報学の提示方 (117) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
125	2月26日	文庫・情報学の提示方 (118) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
126	3月5日	文庫・情報学の提示方 (119) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
127	3月12日	文庫・情報学の提示方 (120) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
128	3月19日	文庫・情報学の提示方 (121) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
129	3月26日	文庫・情報学の提示方 (122) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
130	4月2日	文庫・情報学の提示方 (123) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
131	4月9日	文庫・情報学の提示方 (124) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
132	4月16日	文庫・情報学の提示方 (125) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
133	4月23日	文庫・情報学の提示方 (126) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
134	4月30日	文庫・情報学の提示方 (127) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
135	5月7日	文庫・情報学の提示方 (128) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
136	5月14日	文庫・情報学の提示方 (129) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
137	5月21日	文庫・情報学の提示方 (130) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
138	5月28日	文庫・情報学の提示方 (131) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
139	6月4日	文庫・情報学の提示方 (132) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
140	6月11日	文庫・情報学の提示方 (133) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
141	6月18日	文庫・情報学の提示方 (134) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
142	6月25日	文庫・情報学の提示方 (135) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
143	7月2日	文庫・情報学の提示方 (136) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
144	7月9日	文庫・情報学の提示方 (137) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
145	7月16日	文庫・情報学の提示方 (138) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
146	7月23日	文庫・情報学の提示方 (139) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
147	7月30日	文庫・情報学の提示方 (140) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
148	8月6日	文庫・情報学の提示方 (141) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
149	8月13日	文庫・情報学の提示方 (142) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
150	8月20日	文庫・情報学の提示方 (143) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
151	8月27日	文庫・情報学の提示方 (144) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
152	9月3日	文庫・情報学の提示方 (145) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
153	9月10日	文庫・情報学の提示方 (146) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
154	9月17日	文庫・情報学の提示方 (147) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
155	9月24日	文庫・情報学の提示方 (148) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
156	10月1日	文庫・情報学の提示方 (149) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
157	10月8日	文庫・情報学の提示方 (150) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
158	10月15日	文庫・情報学の提示方 (151) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
159	10月22日	文庫・情報学の提示方 (152) 【演習・授業】 読書講座【読書】	岸田・安藤 理工学部専任教授 氏 名 岸野 英治
160	10		